

平成30年度青森県普通会計決算のポイント

1 決算規模

- 歳入 6,641億 222万3千円 (前年度 6,921億2,927万円、前年度比△4.0%)
- 歳出 6,459億3,848万4千円 (前年度 6,709億2,422万1千円、前年度比△3.7%)

臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税が減となったなか、財政健全化努力を継続しつつ、「地域で経済を回す」仕組みづくり、各産業における労働力不足への対応、「青森県型地域共生社会」の実現などの各種施策に総力を挙げて取り組んだ一方で、当然減となる基金積立金の減等があり、歳入歳出ともに決算額は前年度を下回った。

2 決算収支の状況

- 実質収支 26億5,056万4千円 (前年度 23億3,584万7千円)
- 単年度収支 3億1,471万7千円 (前年度 △6,133万5千円)
- 実質単年度収支 3億1,767万円 (前年度 △5,403万5千円)

3 財政指標等の状況

(単位: %、億円)

〈決算統計関連指標〉	30年度	29年度	増減
経常収支比率	96.9	96.3	0.6

〈健全化判断比率〉	30年度	29年度	増減	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	3.75	5.0
連結実質赤字比率	—	—	—	8.75	15.0
実質公債費比率	13.1	13.4	△0.3	25.0	35.0
将来負担比率	118.1	127.3	△9.2	400.0	—

〈資金不足比率〉

工業用水道事業、病院事業、下水道事業、港湾整備事業のいずれの会計も資金不足は生じておらず、経営健全化基準に該当しない。

〈地方債残高〉	30年度	29年度	増減
普通会計	11,084	11,524	△440
一般会計	10,897	11,331	△434

〈基金残高〉	30年度	29年度	増減
財政調整基金	152	141	11
県債管理基金	187	187	0
その他特定目的基金	536	595	△59
合計	875	923	△48